

報道関係者各位

2022.2
嵯峨嵐山文華館

「花ごよみ -横山大観・菱田春草らが咲きほこる-」 企画展開催のお知らせ



季節をあでやかに彩る花、移りゆく季節。その美しさを留めておきたいと誰もが願い、古来多くの画家が筆をとってその姿を写しました。本展覧会では、横山大観、菱田春草、速水御舟など、近代日本画の巨匠たちによって描かれた花々や四季を画題とした作品を展示いたします。

当展覧会は昨年4月に開催しましたが、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令を受けてわずか2日間で閉幕せざるをえませんでした。そこでこの度展示内容を再編成し、さらに充実した内容で開催することにいたしました。

第1章 (1Fギャラリー)

季節を彩る花と果実

1Fギャラリーでは、幻想的な夜桜を描いた加山又造の大作《おぼろ》に始まり、横山大観による色鮮やかな《桃》、速水御舟《残雪図》の水仙など、近代日本画家たちによって描かれた華麗な花々が、ところせましと咲きほこります。



速水御舟「残雪図」(部分)



横山大観「桃」(部分)



菊池契月「紅葉美人」(部分)

第2章 (2F畳ギャラリー)

日本の四季を描く

2F畳ギャラリーでは、四季の美しさを一度に楽しめる作品を展示しています。春・夏・冬(雪月花)それぞれの趣を斬新な構図で表現した、竹内栖鳳・横山大観・川合玉堂の合作《雪月花》や、それぞれの季節を代表する動植物を精緻に写生し、一枚の画面に表現した今尾景年の《余物百種》など、日本の四季を余すところなくお楽しみください。

作品総数：49点

(前期／17点・後期／17点・通期／15点)

初公開作品：21点

(前期／10点・後期／7点・通期／5点)



竹内栖鳳・横山大観・川合玉堂「雪月花」

プレス用画像一覧_1



01_菱田春草「春庭」 (後期展示)



02_速水御舟「露潤」 (前期展示)



03_速水御舟「牽牛花」 (後期展示)



04_横山大観「桃」 (前期展示)



05_速水御舟「残雪図」 (前期展示)

06_土田麦僊
「鶏頭花」
(後期展示)





07_竹内栖鳳・横山大観・川合玉堂
「雪月花」(前期展示)



★08_伊藤小坡「観菊」(前期展示)



09_菊池契月「紅葉美人」
(後期展示)



11_今尾景年
「余物百種」(通期展示)

10_横山大観
「春夏秋冬」のうち「秋」(通期展示)



12_山内信一「十二月花鳥図屏風」右隻（前期展示）



13_山内信一
「十二月花鳥図屏風」
（部分）_1



14_山内信一
「十二月花鳥図屏風」
（部分）_2

嵯峨嵐山文華館について

百人一首の歴史と日本画の粋を伝えるミュージアム

1000年以上も前から歌枕として詠まれ、愛されてきた嵯峨嵐山の風景。当館はこの地で誕生したと伝えられる百人一首の歴史やその魅力と、日本画の粋を伝えるミュージアムです。石段を上がり、冠木門をくぐって足を踏み入れると、春はしだれ桜、初夏はサツキツツジ、秋は紅葉、冬は冠雪と、四季の美しさを楽しめる石庭。百人一首ゆかりの小倉山を背にし、大堰川を借景として取り込む2階からの眺めは、まさに日本画の世界のようです。



1階の常設展示では100体の歌仙人形（フィギュア）と歌の英訳が並び、藤原定家によって百人一首が選ばれた時から昨今人気の競技かるたに至るまでの変遷をご紹介します。

また2階には120畳の広々とした畳ギャラリーは、じっくり座って自由に鑑賞することも可能。石庭を望む明るいテラスにはカフェスペースが設けられており、景色を楽しみながらお寛ぎいただけます。



嵯峨嵐山文華館概要

- 名称：嵯峨嵐山文華館／Saga Arashiyama Museum of Arts and Culture
- 住所：〒616-8385 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11
- 電話番号：075-882-1111 (FAX) 075-882-1103
- メールアドレス：support@samac.jp
- ホームページ：<http://www.samac.jp>



- 運営：公益財団法人小倉百人一首文化財団
- 交通アクセス：
 - ・ JR山陰本線「嵯峨嵐山」駅下車、徒歩14分
 - ・ 阪急嵐山線「嵐山」駅下車、徒歩13分
 - ・ 嵐電（京福電鉄）「嵐山」駅下車、徒歩5分

- 設立：
 - 2006年 「百人一首殿堂 時雨殿」として設立
 - 2011年 一時休館
 - 2012年 リニューアルオープン
 - 2017年 一時休館
 - 2018年 11月1日 「嵯峨嵐山文華館」としてリニューアルオープン

休 館	毎週火曜日（ゴールデンウィークは休まず開館、5/10・5/11は休館）
料 金	一般・大学生 ¥900(800)/高校生 ¥500(400)/小中学生 ¥300(250) 障がい者と介添人1名まで各¥500(400) ※（ ）は団体料金 <福田美術館との二館共通券> 一般・大学生 ¥2,000/高校生 ¥1,000/小中学生 ¥550 障がい者と介添人1名まで各¥1,000
日 時	2022年4月23日（土）～7月3日（日）10:00～17:00（最終入館16:30） 〈前期〉4月23日（土）～5月30日（月） 〈後期〉6月1日（水）～7月3日（日）
主 催	嵯峨嵐山文華館 京都新聞
後 援	京都府・京都市教育委員会・京都商工会議所

本展に関するお問い合わせ

嵯峨嵐山文華館 広報事務局（ウインダム内）

TEL 03-6661-9448 FAX 03-3664-3833

Email 嵯峨嵐山文華館：samac@windam.co.jp

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9-4F

「嵯峨嵐山文華館」広報事務局 担当：沼澤、多田